

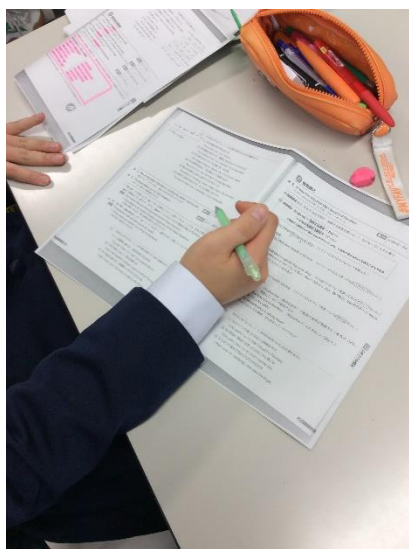


12月24日・25日は、2学年を対象とした「高校生の就職総合支援プロジェクト事業」を活用し、SPI対策講座を実施しました。アレック情報ビジネス学院より講師を招き、確率や推論、図表の読み取りなど就職試験に必要な知識を学びました。1月5日・6日は、1・2学年を対象とした「公務員冬期講習」を開催しました。上野法律ビジネス専門学校より講師を招き、推理・命題、割合・比などを学びました。以下は生徒の感想です。

高校生の就職総合支援プロジェクト事業(2学年)

★今回の講習は5時間という時間でしたが、内容が分かりやすくとても短く感じました。SPIは難しいイメージがありましたが、基礎が備わっていれば解けることが分かったので、繰り返し解いていきたいです。

★今までSPIという単語しか知らなくて、どういうものかわかりませんでした。今回の講習でSPIの難しさを知ることができました。勉強した分だけできるようになると思うので、少しずつやっていきたいです。



★普段の勉強とは違い暗記が通用しないので、毎日コツコツやらなければならないと感じました。今日もらったテキストをしっかりやっていきたいです。

★基礎的な問題が多いのに解けないところが多いことに気付きました。私は進学ですが、将来の就職のために解き方を覚えて準備をしなくてはならないと思いました。

★一番分かったのは推論という言語分野です。確率は数学が苦手な私にとっては難しいと感じました。しかし、これを機に他の冊子等で自分ができるところを繰り返してみたいです。

★今回の講習で自分が今どのぐらいの力があるのか、どれだけ理解できているのか知ることができました。私は、確率の問題が苦手なので理解するまで日ごろから勉強していきたいです。

★確率の問題では、数学Aを勉強していたのですぐに理解できました。しかし、その後の推論からは自分の力だけでは解けない問題ばかりで、とても勉強になりました。



公務員冬期講習(1・2学年)



★自分の得意・不得意が分かる2日間でした。命題や倫理クイズは得意ですが、数的推理が苦手でした。しかし、濃度の問題が苦手意識の強かった私でも、一人で模擬問題を解けるまで理解できました。連比は初めて解く問題でした。講習で改めて復習できたり、学ぶことがあり参加してとても良かったと思います。

★実際にどのような問題が出されて、どのように解くのが分かりました。また、応用はどのように出題されるのかなども学べて、解き方も分かりやすかったです。

★問題は簡単なものから難しい問題までたくさんあるため、色々な方向から勉強をしていかなければならないことを知りました。

★自分の周りにも公務員試験を受けて合格した人がいますが、こんなに大変だとは思っていませんでした。今回の講習をきっかけに、分からなかった問題は繰り返し解いていきたいです。



海上保安庁説明会(1・2年生)



11月に県内企業説明会を行いました。1月6日に2回目として、海上保安庁の説明会を実施しました。海上保安官は、「海の警察官」として、日本の海域を巡視船や航空機を使って監視し、海の治安と安全を守る仕事です。海上の安全を守りながら働く楽しさや試験内容など教えていただきました。

命を守る

海難救助

海では、船舶の衝突・転覆や、海水浴中に離岸流で沖に流されるなどのマリッジヤー中の事故も発生しています。海上保安庁では、自己救命術の普及・啓発を実施するとともに、事故などが発生した際には、迅速に救助活動を実施し、尊い人命を救うことに全力を尽くしています。



火災船で消火する消防艇

救助・救急体制の充実・強化

■潜水士

転覆や沈没した船舶などから、潜水により遭難者を救出したり、行方不明者を捜索することなどを任務としています。潜水士は、近海救助隊員の中から選抜され、厳しい潜水研修を受けた後、潜水認定を受けた近海救助隊に属しています。



水中での遭難者救助する潜水士

■機動救助士

遭難者による遭難者等をヘリコプターにより迅速に救助する専門隊です。ヘリコプターからの降下技術や潜水等の救助技術有しており、遭難の約半数は救助隊士の資格を有しています。全国8箇所の航空基地等に9名ずつの機動救助士が配置され、特殊救難隊とともに、日本沿岸の大部分をカバーしています。



遭難者の取り上げ救助を行う機動救助士

■特殊救助隊

転覆した船舶や火災を起こした危険物運搬船等における人命救助や火災海火事等高度な救助技術と専門的知識を必要とする特殊な任務に対応するための救助のスペシャリストです。救助隊士を養成する6隊38名編成で、全国の特殊な海域に航空機で即座に対応できるように24時間出動できる体制をとっています。



転覆船舶の生存者救助隊の特殊救助隊員